

日本キリスト者医科連盟（JCMA）静岡部会

デンマーク牧場福祉会 共催による 講演会のお知らせ

寒い日々が続きます。デンマーク牧場は、今年も小羊が生まれはじめており、冬の後には必ず春が来ることに心慰められます。牛舎の大改修と乳製品製造ライン一新の工事も順調に進められており、皆様のお祈り、お支えに感謝しています。

今年も 日本キリスト者医科連盟（JCMA）静岡部会と デンマーク牧場福祉会の共催で、年に3回程度、講演会を開催いたします。

3月11日、第1回めとして、2005年10月、静岡市に「つばさ静岡」が開設以来、医師、施設長として、重度の障害者の医療・福祉に携わっている 山倉慎二さんに講演して頂きます。

山倉さんに下記のように、プロフィールと講演の要旨を記して頂きました。

質疑応答、意見交換の時間も多く取り、共に学び合いたいと思います。

どうぞ 皆様ご参集下さい。

日時： 2017年 3月11日（土） 午後1時半より4時頃まで

場所： デンマーク牧場 まきばの家

内容： 講演 「重症心身障害児者と生きることの意味」

山倉 慎二 氏

小羊学園 重度心身障害児者施設 つばさ静岡 施設長（医師）

懇談会

〔山倉慎二さん のプロフィール〕

1986年に和歌山県立医科大学卒業。和歌山赤十字病院、淀川キリスト病院で小児科、新生児科医療に従事した後、1998年から兵庫県の丹波篠山の地で子どもからお年寄りまで幅広く地域医療を行う。2004年に静岡県立こども病院神経科に勤務しながら「つばさ静岡」の開設を準備、2005年10月に「つばさ静岡」を開設し、施設長となる。

〔講演の概要〕

重症心身障害児者施設「つばさ静岡」を開設して11年が経ちました。重症心身障害者とは重度の身体障害と重度の知的障害を併せ持つ、世の中で最も重い障害を持つ方々です。彼らは日々どのような生活をして、どのような支援が必要なのかを知っていただき、生きることの意味とは何なのかをみなさんとともに考えたいと思います。

袋井駅からの送迎希望の方は、**12時50分に 袋井駅の南口を出たところ**に集合下さい。
事前に、こひつじ診療所のスタッフか、武井までご連絡下さい。

JCMA静岡部会長 こひつじ診療所 院長 武井 陽一
まきばの家 こどもの家 施設長 松田 正幸
ディアコニア 施設長 船城 秀樹

問い合わせ先 Tel こひつじ診療所：0538-23-0660、まきばの家：0538-23-0770